

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	静岡県	事業実施主体	静岡県、静岡市	地域再生計画名	「オクシズ」から「しずまえ」をぐるっとつなぐ林業・観光周遊ネットワーク計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	静岡県森林整備課長、静岡市企画課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度		指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	観光レクリエーション客数の増加	24,946千人	R元	25,694千人	R4	19,354千人	26,068千人	R6	×		新型コロナウイルスの影響により活動制限がかかったため、観光客が大幅に減り、中間目標値を下回った。5類感染症へと移行したことから影響が減少してくる予定であるので、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。	
	指標2	森林施業面積の拡大	610ha	R元	705ha	R4	381ha	770ha	R6	×	3	1	台風15号の影響により道路・林道等が通行止めになったため、森林施業が進まず中間目標値を大幅に下回った。林道整備は概ね計画通りに進んでおり、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
	指標3	中山間地への移住世帯数の増加	51世帯	R元	72世帯	R4	90世帯	86世帯	R6	○			既に最終目標値を達成している。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度(R4)	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		14.3km	4.7km	6.5km	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、33%と若干の遅れが伺えるため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	林道整備延長（整備延長）		13.1km	8.6km	11.8km	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、66%と計画以上進捗しており、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
その他の事業	地域材の利用促進		地域材活用促進のため、建築物の構造用材を提供			地域材の普及啓発に努め、健全な森林の育成を実施。							
	茶どころ日本一計画の推進		ブランド強化に向けた人材育成と情報発信を実施			次世代への魅力伝承や新たな価値や魅力を伝える人材育成を行うとともに、公共交通機関や情報誌などによる情報発信を実施。							
	中山間地域への移住促進と情報発信		空き家情報の発信、住宅の改修補助など中山間地域への移住を促進			中山間地域における空き家情報の発信や中山間地域に位置する移住住宅の改修補助、移住促進のための活動を行う地域団体への補助を実施。							
	道路メンテナンス事業補助制度		国土交通省道路局所管補助事業による道路メンテナンス事業の実施			地域再生計画に位置付けられない林業観光ネットワーク上の県道のメンテナンス事業を実施。							
計画外で独自に実施した事業	中山間地域に関する案内物の作成・配布		中山間地域の知名度向上と交流人口の増加に向けた情報発信を実施			中山間地域の魅力である南アルプスや富士山のビューポイントや温泉施設、観光名所などに関する広報物の作成・配布を実施。							
③評価方法	令和5年11月2日開催の静岡市公共事業等評価委員会にて中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う。												
④中間評価の公表方法	市のホームページに掲載（※令和5年11月2日開催の静岡市公共事業等評価委員会で審議後に掲載予定）												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、指標3は最終目標値を達成しているが、計画中に新型コロナウイルス感染症や台風の影響を受けており、指標1・2の中間目標値が大幅に下回っている。しかし、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に実施することにより、山間部での林業振興や観光・交流人口の増などの効果を概ね発現できると考えているため、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。市道の課題として、用地交渉に不測の日時を要している路線があるために整備事業に停滞が生じており、早期に効果が見込める路線を優先的に整備する。更なる観光客数の増加、中山間地域への移住世帯数の増加に向け、道路整備とともに情報発信の強化等を進める。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無） 令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円					中間目標値が達成できなかったのは突発的な事業による原因が大きいと考えられるため、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。							
⑦今後の方針等に対する対応	事業期間の延長もしくは新規計画の立ち上げを検討する。												